

# 風の電話

今だから、伝えたい

天国に繋がる電話に導かれて、  
傷ついた日本を辿る、  
少女の出会いと再生の物語。

モトウ世理奈  
西島秀俊  
西田敏行(特別出演)  
三浦友和

渡辺真起子 山本未來 占部房子 池津祥子 石橋けい 篠原篤 別府康子

監督:諏訪敦彦 脚本:狗飼恭子・諏訪敦彦 音楽:世武裕子

企画・プロデュース:泉 英次 プロデューサー:宮崎 大 長澤佳也

エグゼクティブプロデューサー:青村麻実 中西康浩 小金澤剛康

撮影:灰原隆裕(J.S.C.) 照明:舟橋正生 録音・監音:山本タカアキ 美術:林チナ

スタイリスト:宮本茉莉 ヘアメイク:寺沢ルミ 編集:佐藤崇 助監督:是安 祐 制作担当:熊谷 悠

企画協力:佐々木 格 佐々木祐子

後援:岩手県 岩手県教育委員会 大槌町 大槌町教育委員会 協賛:イオンモール ニラク

製作:ブロードメディア・スタジオ テレビ東京 電通 イオンエンターテイメント 朝日新聞社 岩手日報社 河北新報社 福島民報社

制作プロダクション:ジャングルドラム 制作・配給:ブロードメディア・スタジオ Broadmedia 配給協力:イオンエンターテイメント

©2020 映画「風の電話」製作委員会

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

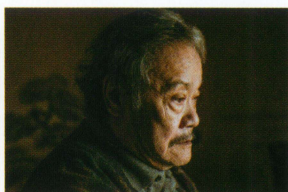
kazenodenwa.com



## もう一度、話したい人がいる。傷ついた人々に寄り添う感動の物語。

岩手県、大槌町に存在する〈風の電話〉。電話線の繋がっていないその電話は、「天国に繋がる電話」として人々に広まり、東日本大震災以降、3万人を超える人々が、この場所を訪れている。映画『風の電話』は、この電話をモチーフにした初めての映像作品。監督は、フランスをはじめヨーロッパで圧倒的な評価を受けている諏訪敦彦。広島から故郷の大槌町へと旅する主人公ハルを、注目の女優モトーラ世理奈

が演じ、西島秀俊、西田敏行、三浦友和ら日本を代表する名優たちが、彼女の熱演を温かく包む。現場の空気感まで切り取る諏訪監督ならではの手法によって、魂のこもった俳優たちの演技が胸を打つ本作。唯一無二の映画体験が見る人の人生に優しくそっと刻まれる、今だからこそ届けたい、珠玉の感動作が誕生した。



## あの日以来、訪れていない故郷・岩手の大槌町へ。出会いと別れを繰り返し、再生へと向かうハルの旅。

17歳の高校生ハル(モトーラ世理奈)は、東日本大震災で家族を失い、広島に住む伯母、広子(渡辺真起子)の家に身を寄せている。心に深い傷を抱えながらも、常に寄り添ってくれる広子のおかげで、日常を過ごすことができたハルだったが、ある日、学校から帰ると広子が部屋で倒れていた。自分の周りの人が全てなくなる不安に駆られたハルは、あの日以来、一度も帰っていない故郷の大槌町へ向かう。広島から岩手までの長い旅の途中、彼女の目にはどんな景色が

映っていくのだろうか。憔悴して道端に倒れていたところを助けてくれた公平(三浦友和)、今も福島に暮らし被災した時の話を聞かせてくれた今田(西田敏行)。様々な人と出会い、食事をふるまわれ、抱きしめられ、「生きろ」と励まされるハル。道中で出会った福島の元原発作業員の森尾(西島秀俊)と共に旅は続いていき…。そして、ハルは導かれるように、故郷にある〈風の電話〉へと歩みを進める。家族と「もう一度、話したい」その想いを胸に一。

人生に刻まれる珠玉のラスト——。  
今まで言えなかった、  
9年分の少女の想いが溢れ出す。

# 風の電話

モトーラ世理奈 西島秀俊 西田敏行(特別出演) 三浦友和  
渡辺真起子 山本未來 古部房子 池津祥子 石橋けい 篠原篤 別府康子

監督:諏訪敦彦 脚本:狗飼恭子・諏訪敦彦 音楽:世武裕子

制作:プロダクション・シンキング・ドラマ 制作・配給:ブロードメディア・スタジオ 配給協力:イオンエンターテイメント

パブリシティ:朝日新聞出版 フォトブック:ザメディアジョブプレス 協力:風間書房

© 2020 映画『風の電話』製作委員会 一般G/139分/セスタ

kazenodenwa.com

## 2020.1.24 全国ロードショー